

責任者：高橋 有里

共同者：高橋 和眞，三浦 奈都子，井上 都之，鈴木 美代子，
及川 正広，小向 敦子，藤澤 望，及川 陽子，松坂 朋佳
令和6年度岩手県立大学看護実践研究センター事業

・活動の概要

看護職者のエビデンスに基づいた看護技術実践能力の向上を目指し，日々実践している看護技術に関する知識のリフレッシュ，技術のブラッシュアップを支援することを目的として，7つのテーマの研修会を開催した。

開催日時	開催方法	テーマ・講師
10月3日(木) 9:30～12:30	対面	心電図・不整脈の読み方 高橋有里・及川陽子 (岩手県立大学看護学部)
10月17日(木) 10:00～16:00	対面	脳・神経系のフィジカルアセスメント 井上都之・鈴木美代子・松坂朋佳 (岩手県立大学看護学部)
10月31日(木) 9:30～12:00	対面	人工呼吸器管理のポイント 高橋有里・及川正広 (岩手県立大学看護学部)
11月11日(月) 9:00～12:00	Web	臨床に活かすリンパ浮腫へのケア 鈴木美代子・藤澤望 (岩手県立大学看護学部)
11月18日(月) 9:30～12:00	Web	静脈血採血・血液検査の基本 小向敦子 (岩手県立大学看護学部)
12月2日(月) 9:30～12:00	Web	スキンケアとストーマケアのポイント 小野寺喜代 (岩手県立岩井病院皮膚・排泄ケア認定看護師) 三浦奈都子 (岩手県立大学看護学部)
12月9日(月) 9:00～12:00	Web	胸部・腹部のフィジカルアセスメント 高橋和眞・三浦奈都子 (岩手県立大学看護学部)

・活動の成果

研修会の延べ参加者数は145名。終了後のアンケートでは「講義の他に実践もでき，理解が深まった」「人工呼吸器を学ぶ機会がなかなかなく，いい機会になった」「改めて解剖学から復習でき，自分の知識を確実かつ増やすことに繋がった」「日常の業務にすぐに活かせる内容だった」などの声があった。研修の満足度や理解度，実践応用への役立ち度も8割以上の参加者から高い評価を得ており，参加者が知識を深め，技術のブラッシュアップを行うために有意義であったと考える。



12誘導心電図
電極の貼り方

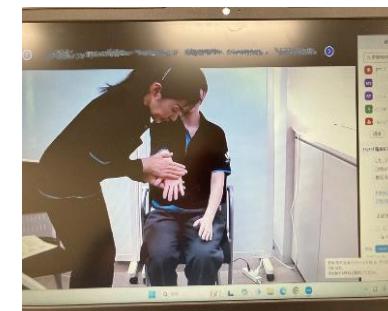
対面開催：心電図・不整脈 講義・演習の様子



対面開催：脳・神経系PA 講義・演習・GWの様子



模擬患者（学生）
協力のもと，意識
レベル等確認

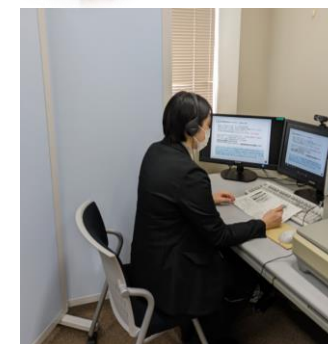


Web開催：
リンパ浮腫 演習の様子



人工呼吸器を
実際に触って
みました

対面開催：人工呼吸器管理 講義・演習の様子



Web開催：採血 講義の様子